

令和元年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

整理番号 7 - 3 - 3

事務事業名	小松島市立学校再編実施計画策定事業			担当課係	教育政策課 学校再編準備室
総合計画上の位置付け	政策	④ みんなで創るまちづくり		記入担当者	河口 泰往
	基本目標	8. 市民参画・協働のまちづくり		内線等	32-3813
	施策	8-2 人口減少社会における行政運営		E-mail	kyouikuseisaku@city.komatsushima.lg.jp
	基本方針	8-2-2 公共施設等の適正な管理運営			
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）			事業区分	臨時事業
事業予算費目	款	10 教育費	項	1 教育総務費	
	目	2 庁舎等管理費	事業	9 小松島市立学校再編実施計画策定事業	
開始年度	令和元	年度	根拠法令・要綱等	小松島市立学校再編基本計画	

■事務事業の概要（実施内容）

事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） 市民（小学校児童とその保護者、地域住民 等）
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 教育委員会では、児童数の減少や学校施設（校舎等）の老朽化などの状況を踏まえ、平成30年12月に「小松島市立学校再編基本計画」（以下「基本計画」という。）を取りまとめた。当事業は、基本計画に基づく学校再編内容を具体化し、個別の再編内容を盛り込んだ「小松島市立学校再編実施計画」（以下「実施計画」という。）を策定することを目的とする。
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 広報6月号及びホームページで募集し、申請書等必要書類を提出してもらい、小松島市奨学生審査委員会の審査を経て支給決定をしている。奨学生として支給が決定した者については、7月、10月、1月及び翌年度4月に、その直前の3ヶ月分（15,000円）をまとめて支給する。また進級や卒業の確認を、翌年度4月に継続届及び在学証明書あるいは卒業証明書にて行っている。なお、支給決定の初年度については、10月（4月～9月分）に支給している。
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 今後、人口が急速に減少するなかで小学校の小規模化も進行し、現状のままでは適正な教育環境の維持が困難になることに加え、学校施設の老朽化も進んでいることから、小学校の再編が必要となっている。小学校の再編を進めるには検討すべき事項が多岐にわたり、専門的知識を要するものも多く、市独自の作業では限界がある。そのため、コンサルタント会社等への委託が必要となった。

■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名			指標の説明				指標化できない成果
	実施計画（案）に対する賛成率			アンケート調査における「4校再編案」を「進めた方がよい」と答えた人の割合				
	単位	H30	R1	R2	R3	目標年度 目標値		
%	目標							
	実績		72					
	達成度							
活動実績・参考となる指標	指標名		単位	H30	R1	R2	R3	指標の説明
	住民説明会	計画	回		11			住民説明会 開催回数 （個別説明会は除く）
		実績			11			
	市民向けアンケート調査	計画	人		3,000			調査対象者数
		実績			3,000			
	パブリックコメント	計画	件					パブリックコメント 意見件数
		実績			54			
	先進地視察（県外）	計画	回					広島県内の自治体を視察
		実績			1			

■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		H30年度決算	R1年度決算	R1年度予算	R2年度予算
全体コスト （円）	関連事業費 財源内訳	A 直接事業費	0	7,444,597	7,705,000
		国県支出金			
		地方債			
		利用者負担 一般財源		7,444,597	
	B 人件費 ①×②	0	13,276,019		
	職員平均人件費①		8,297,512		
	従事した割合②①人		1.60		
A + B		0	20,720,616		
単位コスト	活動指標の説明		市内小学生（1,623人）		備考
	活動指標1 単位当たりコスト		12,767		平成30年4月1日現在 人口38,156人
	市民一人あたりのコスト		548		平成31年4月1日現在 人口37,795人

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 少子化に対応した学校規模の適正化は全国的に大きな課題となっている。国からは平成27年1月27日付けで「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が発出されている。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 小学校の再編を早期に望む声、学校が無くなることに反対する声、様々である。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	実施計画の策定には、専門家等の知見を活かした、敷地規模、立地利便性、都市機能、災害リスクなどに関する検討や、学校再編に対する意見の把握等が必要である。
	<input type="checkbox"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="checkbox"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	小松島市立学校の再編に関する事業であり、当然、市で実施する必要がある。
	<input type="checkbox"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="checkbox"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいか、コスト削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> ① 効率的である	当事業における取組は、学校再編に関連する多様な事情を調査・研究等するために必要であった。市独自の作業では限界がある場合は委託を行ったが、それ以外の部分は、教育委員会内で必要な協力を得ながら効率的に取り組んでいる。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="checkbox"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="checkbox"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	今後も児童数の減少は進み、近い将来、複式学級化を避けられない状況も想定される。また、学校施設の老朽化は施設利用者の安全性に関わり、利便性や快適性などにも影響がある。このような事情を踏まえると、学校再編に関する取組は緊急性が高いといえる。
	<input type="checkbox"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="checkbox"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="checkbox"/> ① 成果が上がっている	実施計画(案)の策定には至ったが、令和2年3月に市議会から市長、教育長宛てで「市民の理解度は十分とは言えず、市長の説明責任が果たせていないと言わざるを得ない」という意見書が提出されたことを受け、令和元年度末での成案化は見送ることになった。
	<input type="checkbox"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="checkbox"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	市議会からの意見書では「市長と教育委員会は、市民に対してより理解を求め、合意形成を図るべきである」と要望されていることから、市民からより一層の理解を得られる学校再編になるよう、今後は市長部局との連携を強化しながら取り組む必要がある。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定	判定に至った理由
		2 現状のまま継続する	60 ~ 79 点		
2		3 改善・効率化し継続	40 ~ 59 点	評価点	児童数は年々減少し、学校施設の老朽化も進んでいる。将来に向けてより良い教育環境を整備していくためには、小学校再編は必要不可欠といえる。そのため、令和2年度は学校再編に関する事業化はないものの、小学校再編に向けた取組は引き続き必要である。
		4 終期設定し終了	20 ~ 39 点	80	
		5 完了・休止・廃止	19 点 以下		

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容(方向性・対象・手段等について記述)】

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	判定説明
		2 現状のまま継続する	
2		3 改善・効率化し継続	今後は、小学校再編に対してより一層市民から理解をいただけるよう、再編に伴う諸課題の解決に向けた市長部局との協議を継続的に行っていくことが大切である。
		4 終期設定し終了	
		5 完了・休止・廃止	